



第13回 富士山世界遺産セミナーを開催します 「東海道・原の文化誌」

要 旨

富士山世界遺産セミナーが沼津市で初めて開催されます。今回のテーマは「東海道・原の文化誌」として、富士山と、江戸文化の拠点として機能した「原」について、絵画史の視点から検証する内容となっております。江戸時代、東海道の宿駅「原」は、文化交流の拠点であり、富士山を望む景勝の地として知られていました。「東海道・原」という地域が、江戸時代の文化や芸術に大きな影響を与えた地の一つとして再認識できる内容となっております。

概 要

- 1 日 時 令和4年8月11日(木・祝) 13:30-16:00(13:00開場)
- 2 場 所 市立図書館4F 視聴覚ホール
(沼津市三枚橋町9番1号)
- 3 講 演 ①「東海道・原の図像学—真景図から浮世絵版画へ」
講師:松島 仁氏(静岡県富士山世界遺産センター教授・公益財団法人徳川記念財団特別研究員)
②「東京国立博物館の旧植松家コレクション」
講師:大橋 美織氏(東京国立博物館研究員)
③「白隠と原」
講師:柿澤 香穂氏(早稲田大学會津八一記念博物館 学芸員)
- 4 定 員 90名(事前申込制・先着順)
- 5 申し込み 申込期間:令和4年7月8日(金)から令和4年8月3日(水)まで
申込方法:静岡県富士山世界遺産センターホームページ
(<https://mtfuji-whc.jp/>)内の「イベント」のページからお申込みください。

※富士山世界遺産セミナーとは、県民の方々に富士山に関わる研究成果について知っていただくために、静岡県富士山世界遺産センターが各市町と共催で行っている事業で、今回で13回目となります。

お問い合わせ先

沼津市役所 教育委員会 文化振興課
直通:055-934-4812





駿川次郎画 東海道五拾六之内（複製）（複製）（複製）（複製）（複製）（複製）
The Metropolitan Museum of Art

第13回 富士山世界遺産セミナー

東海道・原の文化誌

日時

令和4年 **8月11日** (木・祝) 山の日

午後1時30分～午後4時00分(開場午後1時) 受講料無料

定員 **90名** (事前申込制・先着順) 詳細は裏面を御覧下さい。

講演① 「東海道・原の図像学—真景図から浮世絵版画へ」

講師：松島 仁 (静岡県富士山世界遺産センター教授・徳川記念財団特別研究員)

講演② 「東京国立博物館の旧植松家コレクション」

講師：大橋 美織 (東京国立博物館研究員)

講演③ 「白隠と原」

講師：柿澤 香穂 (美術史家)

主催：静岡県／沼津市／沼津市教育委員会



会場：沼津市立図書館4階 視聴覚ホール
(沼津市三枚橋町9番1号)



交通案内：JR沼津駅(南口)より徒歩5分

※駐車スペースには限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。

第13回 富士山世界遺産セミナー

東海道・原の文化誌

江戸時代、東海道の宿駅・原は、情報や物流の結節点として繁栄しました。

東海道を東から西へ向かう行程において、愛鷹山の山かげから富士山が徐々に顕れる様子が望める原の風景は、画家の視覚にインスピレーションを喚起し、当時流行した真景図—観念的な山水ではなく実際に旅し目にした風景をときに実感を込めつつ描いた作品として絵画化されるようになります。そうした原の風景はやがて定型化されるとともに、歌川広重画『東海道五拾三次』をはじめとする浮世絵版画にも構図を提供し、“商品化”していきます。

一方、交通の要衝たる原には、植松家のような教養にあふれた文化のパトロンも現れます。同家が構えた帯笑園は、東海道屈指の名園として、京坂や江戸などから多くの文人・画家が集い、ときに制作の場となりました。また原の地からは白隠慧鶴のような江戸時代を代表する高僧も輩出しました。機知や警句に富んだ白隠の書画は、今なお広く親しまれています。令和4年度の富士山世界遺産セミナーでは、江戸文化の場（トポス）として機能した原について、絵画史の視点から多面的に検証していきます。



（左側）白隠慧鶴画『観音菩薩』 植松家（静岡県富士山世界遺産センター蔵）

スケジュール

- 13:30～ 開会あいさつ
- 13:40～ 講演1「東海道・原の図像学—真景図から浮世絵版画へ」
松島 仁（静岡県富士山世界遺産センター教授）
- 14:20～ 休憩
- 14:30～ 講演2「東京国立博物館の旧植松家コレクション」
大橋 美織（東京国立博物館研究員）
- 15:10～ 講演3「白隠と原」
柿澤 香穂（美術史家）
- 15:50 閉会あいさつ

申し込み

申込期間：令和4年7月8日（金）から令和4年8月3日（水）まで
申込方法：静岡県富士山世界遺産センターホームページ
（<https://mtfujj-whc.jp/>）内の「イベント」のページから
お申込みください。

※電話（0544-21-3776）でのお問合せは9：00～18：00をお願い
致します。（7月19日は休館日のため電話への対応ができません。）

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止または
内容を変更する場合がございます。
最新の情報を静岡県富士山世界遺産センターホームページ
（<https://mtfujj-whc.jp/>）でご確認ください。



講師紹介

大橋 美織（おおはし・みおり）

東京国立博物館学芸研究部絵画・彫刻室研究員

専門は近世日本絵画史。江戸時代後期における風景表現を中心に、
円山四条派や文人画を含めた絵画史全般を
研究する。

主な著書・論文に「桑山玉洲兼「熊野奇
勝図巻」考察—真景図とその実践」（『美術
史』58-1・2008年）、「描かれた風景—憧
れの真景・実景への関心」（東京国立博物館・
2013年〈東京国立博物館における同特集
陳列の図録〉）

柿澤 香穂（かきざわ・かほ）

美術史家

専門は近世日本絵画史。白隠慧鶴の書画
と思想を中心に、江戸時代の絵画史全般を
視野に入れ研究する。

主な論文に「白隠慧鶴筆「大日如来図」
に関する考察—松林寺伝来「神影図」との
関わりを中心に」（『美術史』70-2、2021年）

松島 仁（まつしま・じん）

静岡県富士山世界遺産センター教授
公益財団法人徳川記念財団特別研究員

専門は日本・東アジアの絵画史・文化史。
政治と文化の相関関係について、絵画資料
を中心とする視覚イメージからアプローチ
する。

主な著書に『狩野派絵画と天下人』（ブ
リュッケ）、『徳川将軍権力と狩野派絵画』
（ブリュッケ）など。



白隠慧鶴画『観音菩薩』
（静岡県富士山世界遺産センター蔵）
Co.Usse